

NISA意向調査 2024年

調査結果報告 サマリー版

2024年2月29日

株式会社NTTデータエービック

金融サービス推進部

2024年NISA意向調査実施概要

2024年1月から新NISA制度が開始されました。当社では、昨年、新NISA制度導入の政府発表を受け、NISA未利用の人たちが、この新NISAに対してどのような捉え方をしたかを知るために、NISA意向調査を実施しました。

そこから1年が経ち、実際に新NISAが開始されたタイミングで、各金融機関のプロモーション等を受け、NISAの利用意向にどのような変化が現れたのかを知るために、昨年と同様のスキームでNISA意向調査を実施しました。

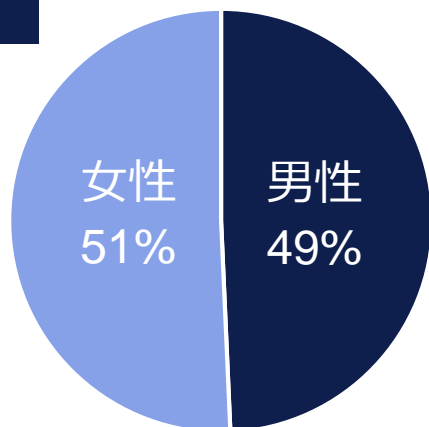
調査対象者・ サンプルサイズ	<p>①スクリーニング調査： 23,500ss 【回答者条件】</p> <ul style="list-style-type: none">・全国の18～69歳男女・47都道府県ごとに、性別・年代別に500ss回収 <p>※2020年国勢調査の結果に基づき、ウエイトバック集計を実施</p> <p>②本調査対象者： 9,400ss 【回答者条件】</p> <ul style="list-style-type: none">・全国の18～69歳の男女・47都道府県ごとに、NISA口座での投資経験者を50ss、NISA口座での投資未経験者を150ss回収 <p>※2020年国勢調査の結果とスクリーニングデータでの出現率に基づき、ウエイトバック集計を実施</p>
調査手法	LINEリサーチ プラットフォーム利用の調査
調査期間	2024年1月19日（金）～2024年1月22日（月） ※昨年調査 2023年2月15日（水）～2023年2月21日（火）
調査実施機関	株式会社クロス・マーケティング

回答者プロフィール

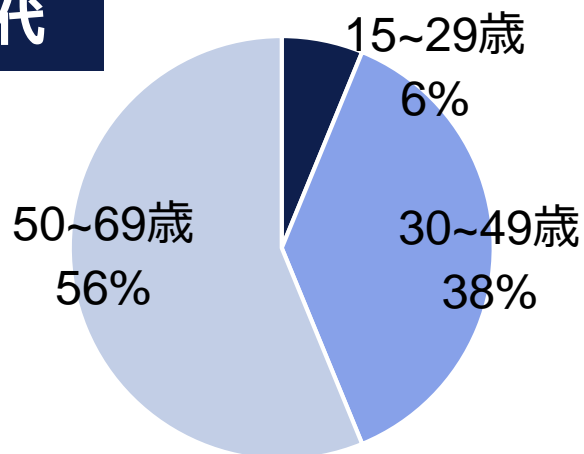
本調査の回答者プロフィールは、昨年調査とほぼ同様の母集団となり、15歳から69歳までの幅広い世代から有意なアンケート結果を回収することができました。

性別

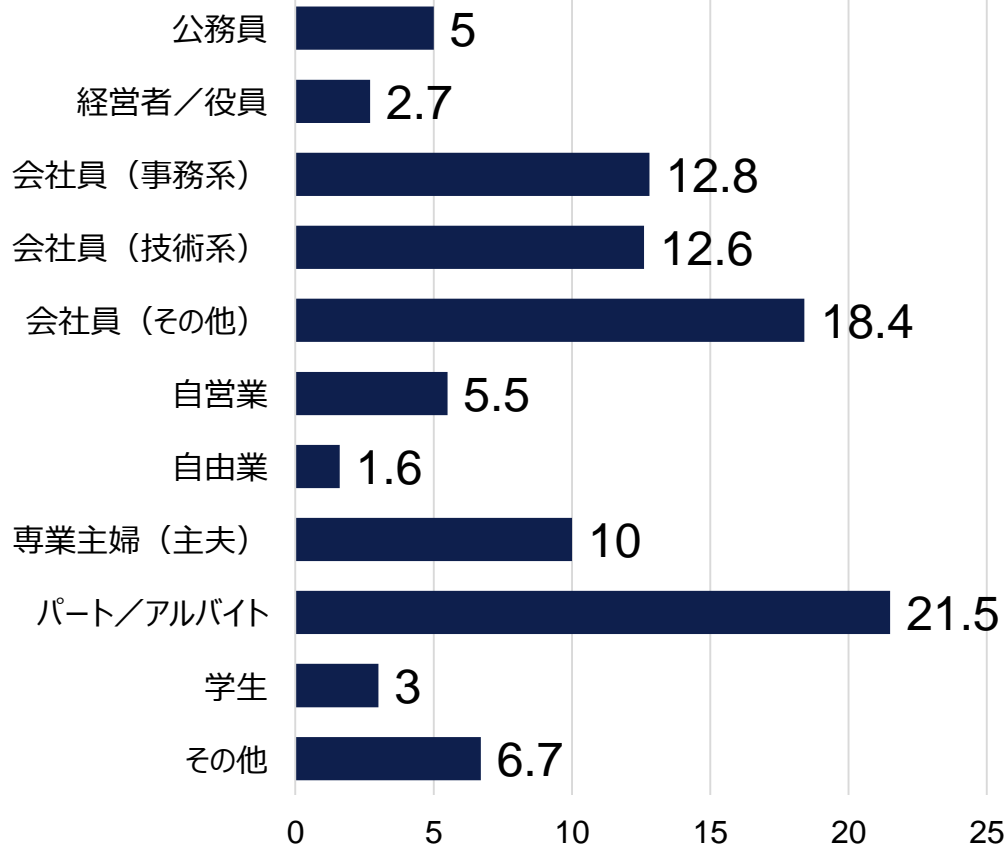
N=9400



年代



職業



調査結果報告 ～まとめ～

NISAの利用状況を調べたところ、NISAを利用した投資経験有とした回答は23.5%となり、ほぼ4人に1人が利用していることが分かりました。このNISA投資経験有の回答は昨年から5ポイント上昇しており、また、NISAを知らないという回答は7.6%で昨年から▲6.7ポイント減少していました。新NISA制度導入に向け、この1年間に各金融機関が積極的な広告・宣伝活動を行った結果、NISA制度の認知が大きく広がったと思われます。

NISAの投資経験有と回答した層に、そのNISA口座の開設時期を尋ねたところ、「1年以内」が27.2%おり、その内訳を性年代別に見ると、18～29歳の若手層で男性40.5%、女性43.2%が「1年以内」にNISA口座を開設していました。

さらに、NISAの利用目的を確認すると、「資産形成のため」60.0%、「老後の備え（年金の補完）」59.0%となっており、NISA制度が資産形成や老後資金の備えとして重要な手段と捉えられていることが分かります。

NISAの利用金融機関は、昨年と同様にネット証券・ネット銀行が48.5%と圧倒的に高い結果となりました。

一方、地元の銀行は15.0%で2番目に高く、NISA利用金融機関の選定理由を見ると、「日ごろ利用しているから」29.0%、「給与振込」11.9%、「営業担当者を信頼」11.5%、「店舗やATMが近い」11.5%等が昨年調査よりも増えています。

NISAを始めるきっかけを尋ねたところ、ネット証券・ネット銀行では「インターネット情報サイト」が33.6%と一番高い一方で、地元の銀行では「金融機関の担当者」が58.5%ともっとも高くなっており、それぞれの金融機関の特色が示されました。

この業態別の特色は、NISA利用で不安に感じていることを解消するために必要なことを尋ねた質問でも顕著に差が出ており、ネット証券・ネット銀行では「投資に関する自主的な勉強」が55.7%ともっとも高く、対して、地元の銀行では、「金融機関などの担当者からの適切な情報提供」が46.5%ともっとも高くなっています。

このことから、自分で情報収集や投資判断ができる層は、この1年間でネット証券・ネット銀行でNISAを利用しており、その一方で、金融機関を信頼してそこからの情報提供に基づき投資を行う層は、地元の銀行など、日常的に利用し、信頼関係のある金融機関を選択する傾向にあると思われます。

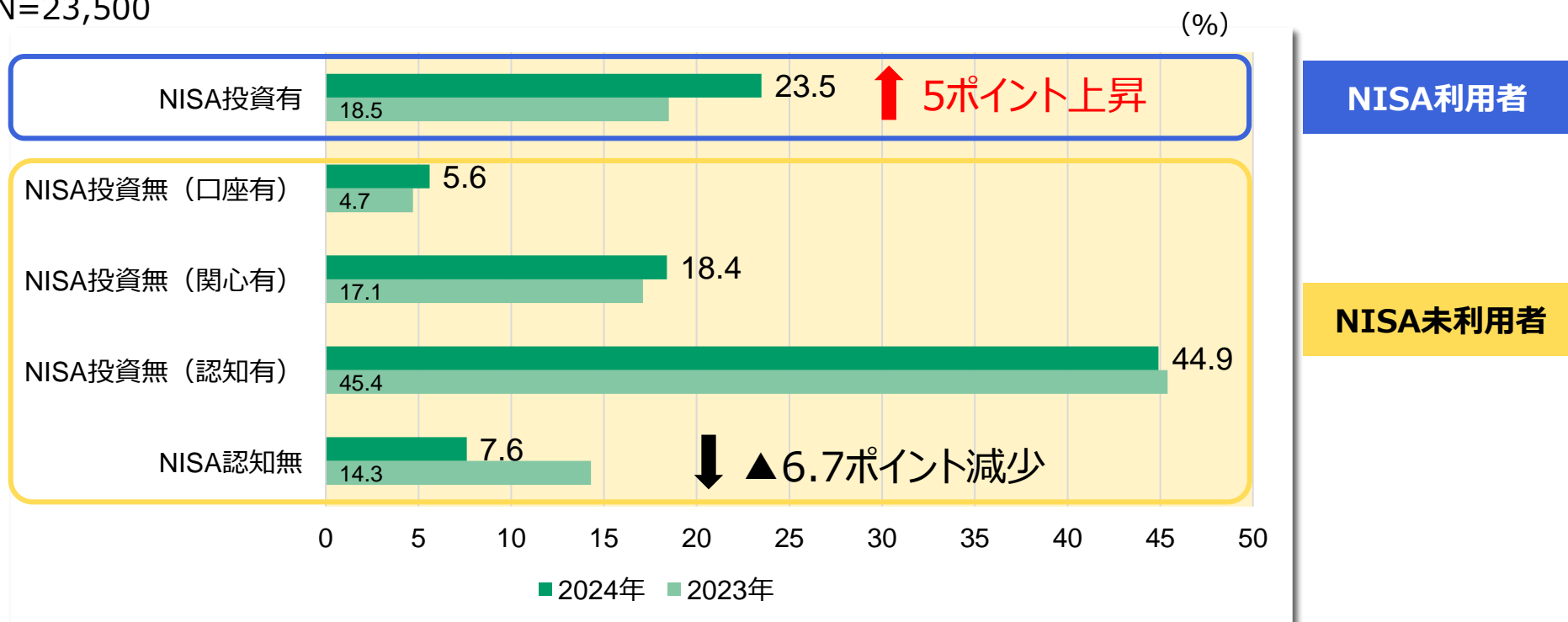
01

調査結果速報

新旧の区別なくNISA制度について、まず投資経験を確認しました。このNISA投資経験の有無により、投資経験有を「NISA利用者」、それ以外の投資経験無を「NISA未利用者」としています。

NISA制度による投資経験有は、昨年18.5%から5ポイント上昇し、今年23.5%となった。
NISA未利用者の中で、NISAを「知らない」と回答した「NISA認知無」は、昨年の14.3%から今年7.6%に減少しており、この1年間の金融機関のNISAプロモーション等により認知度が向上した。

N=23,500



NISA利用経験 ②エリア別

全員

同じ設問についてエリア別のNISA投資経験有の比率を昨年調査と比較すると、以下の通りとなります。

NISA投資経験有の比率は、すべてのエリアで前年よりも上昇している。特に関東、東海、近畿、九州・沖縄での増加が目立つ。一方、NISA認知無は、北海道を除き、1桁の水準に減少した。

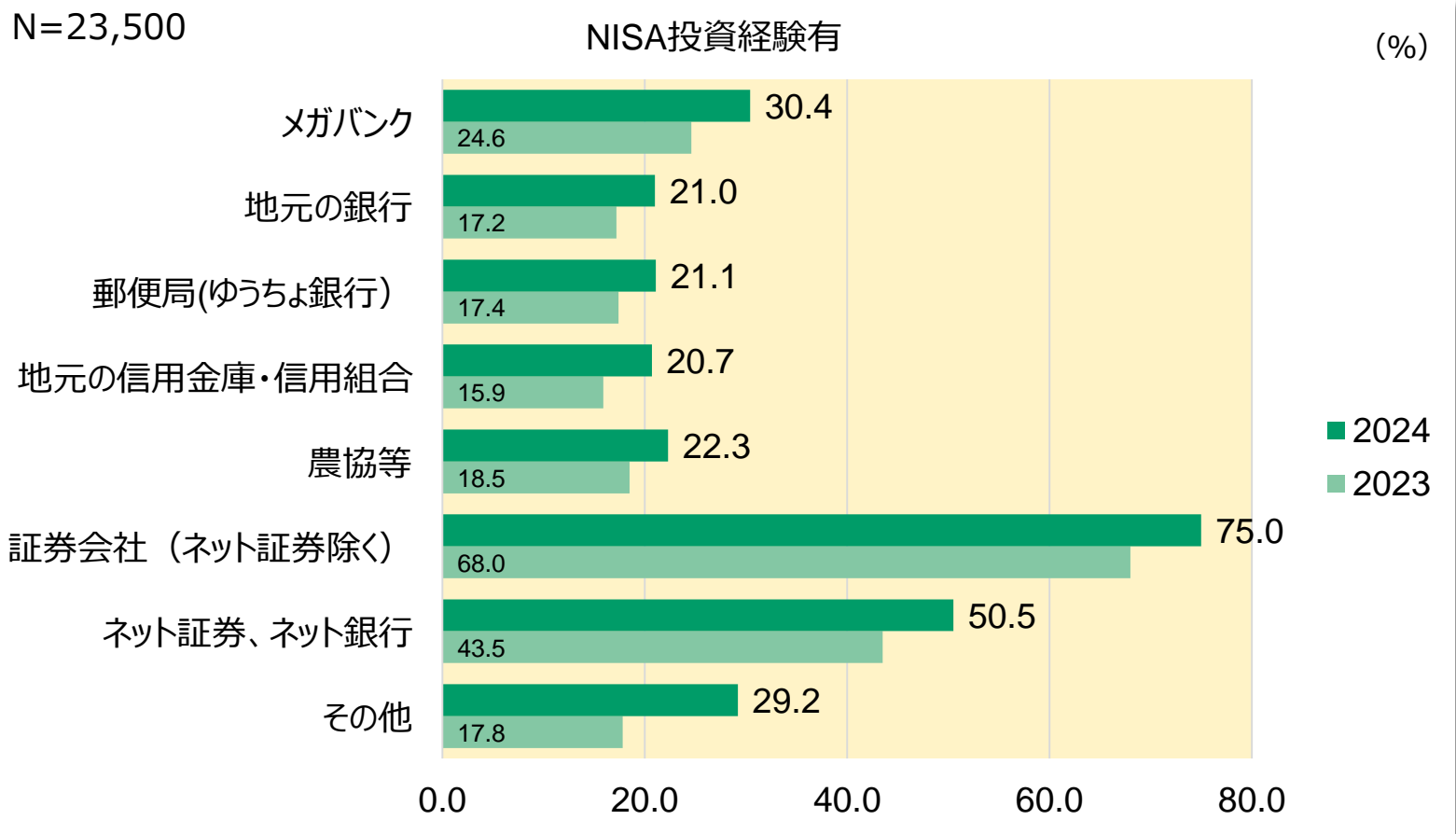
N=23,500 エリア別	NISA投資経験有 (%)		
	2023年	2024年	増減
北海道	16.0	18.3	+2.3
東北	15.9	19.1	+3.2
関東	20.2	25.8	+5.6
北陸・甲信越	18.1	21.2	+3.1
東海	17.6	23.8	+6.2
近畿	18.7	24.4	+5.7
中国	19.3	23.1	+3.8
四国	18.3	19.4	+1.1
九州・沖縄	16.0	21.0	+5.0

NISA認知無 (%)	
2023年	2024年
17.6	11.3
16.1	9.0
11.7	6.7
16.2	7.7
16.0	8.7
13.6	6.5
16.3	7.6
16.5	9.4
17.4	8.0

NISA利用経験 ③通常利用金融機関別

スクリーニング調査で通常よく利用する金融機関をひとつ選んでもらっています。その通常利用金融機関別にNISA投資経験有の回答について、昨年からの変化を見ると、以下の通りとなりました。

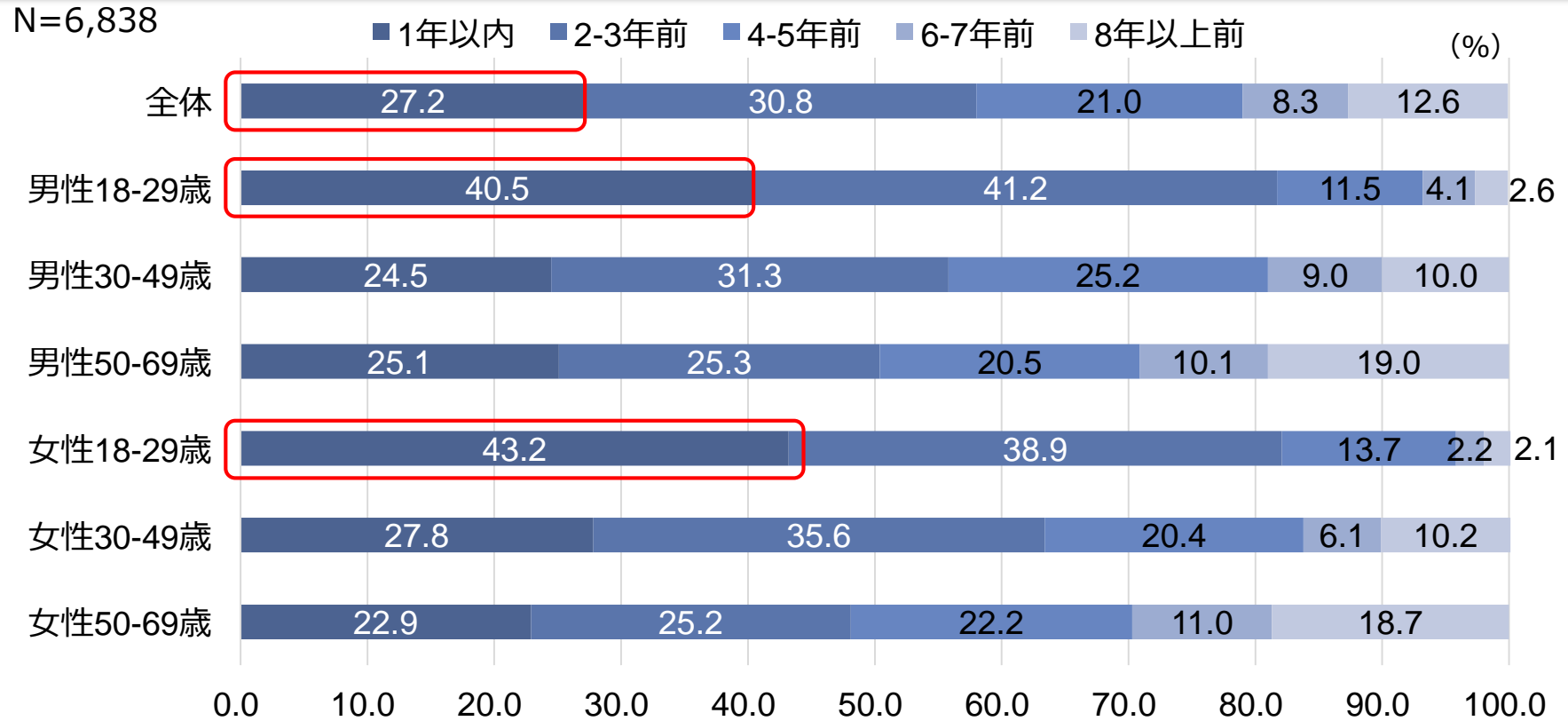
昨年に比べ、ほぼすべての業態でNISA投資経験有が増加しているが、特に証券会社、ネット証券等を通常利用金融機関としている人のNISA利用経験有の増加が大きい。



NISA口座開設時期

前問でNISA投資経験有とNISA投資無（口座有）と回答した人に、そのNISA口座をいつ頃開設したのかを尋ねました。

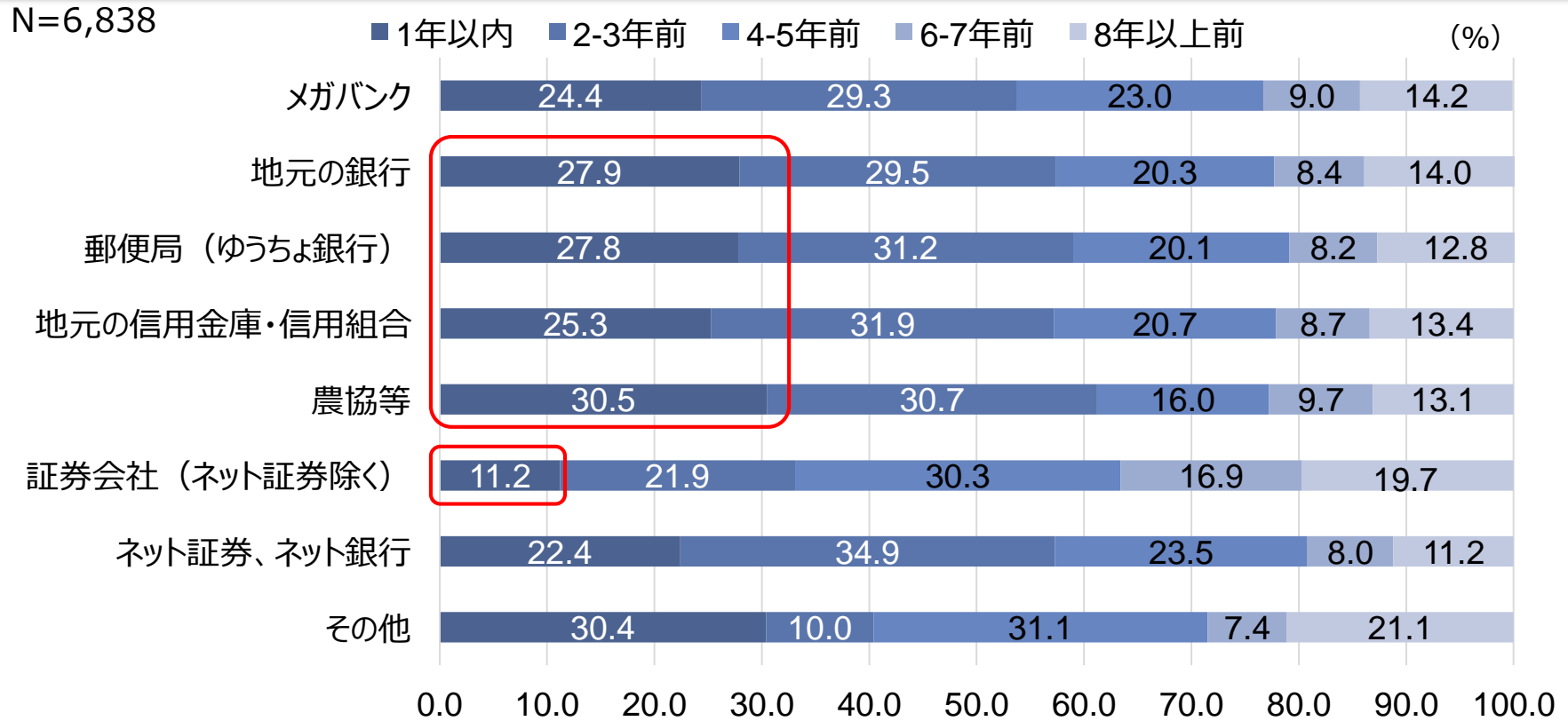
NISA口座有と回答した人の内、1年以内の口座開設は、27.2%。
性別年代別に見ると、どちらの性別でも**18-29歳の若手世代が40%超と新NISA制度開始に向けて行動を起こしたことが分かる。**



NISA口座開設時期 ②通常利用金融機関別

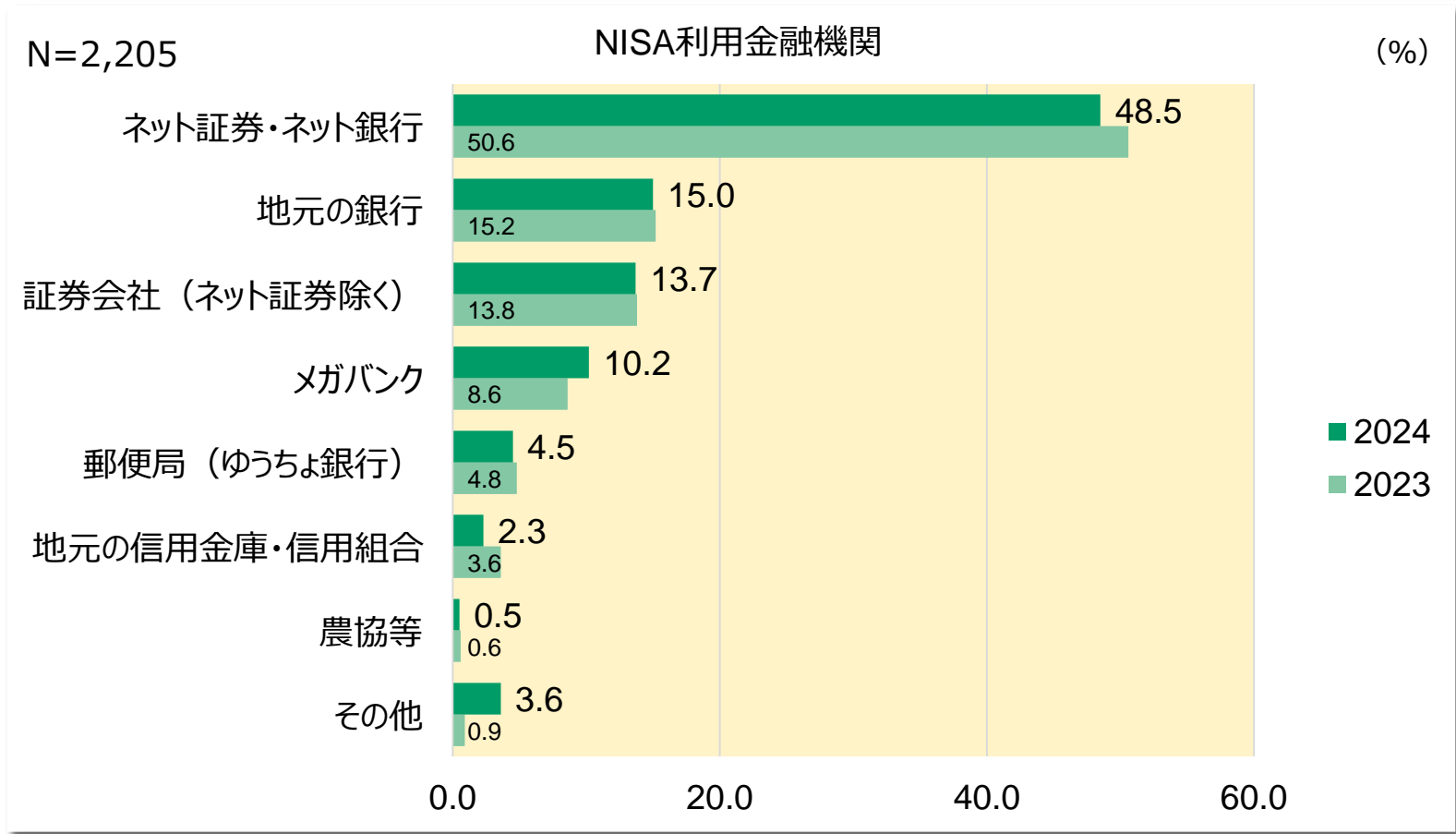
同じくNISA口座開設時期を通常利用金融機関別に分析しました。

NISA口座を1年以内に開設したという回答は、全体で27.2%だったが、**農協等30.5%、地元の銀行27.9%、ゆうちょ銀行27.8%、信金・信組25.3%の業態**での回答が特に大きい。対して、証券会社の1年以内口座開設は、11.2%と少なく、証券会社の利用者については旧NISAによる口座開設が既に進んでいたと推測される。



NISA投資経験有と回答した人にNISAをどの金融機関で利用したかを尋ねました。

NISA投資経験有のNISA利用金融機関は、ネット証券・ネット銀行が48.5%、次いで地元の銀行が15.0%、証券会社13.7%、メガバンク10.2%となった。昨年比では、メガバンクの利用がやや伸びている。



NISA利用金融機関 ②通常利用金融機関との比較

NISA利用金融機関について、通常利用金融機関による比較を行いました。

下表で「同じ業態」とした数値は、たとえば、通常利用金融機関で「メガバンク」と答えた人がNISA利用金融機関においても「メガバンク」と答えた人の数値です。

異なる業態でNISAを利用した場合として「ネット証券」の回答と比較してみました。

N=2,205 通常利用金融機関	NISA利用金融機関 (%)		
	同じ業態	ネット証券	差分
メガバンク	23.4	47.8	24.4
地元の銀行	32.2	37.8	5.6
郵便局（ゆうちょ銀行）	11.0	44.8	33.8
地元の信用金庫・信用組合	1.5	42.1	40.6
農協等	1.9	39.6	37.7
証券会社	44.2	39.9	-4.3
ネット証券・ネット銀行	76.0	76.0	0
その他	1.2	50.7	49.5

前頁でNISA利用金融機関は、ネット証券・ネット銀行が48.5%と最も多かった。
NISAを通常利用金融機関とは別に「ネット証券」で利用した回答から「同じ業態」の回答を引いたものが左表の「差分」となる。
この「差分」を見ると、通常利用金融機関が郵便局（ゆうちょ銀行）33.8、地元の信用金庫・信用組合が40.6、農協等37.7となっており、通常利用金融機関ではなく「ネット証券」でNISAを利用している比率が高いことが分かる。

NISA利用金融機関の選定理由

NISA利用者

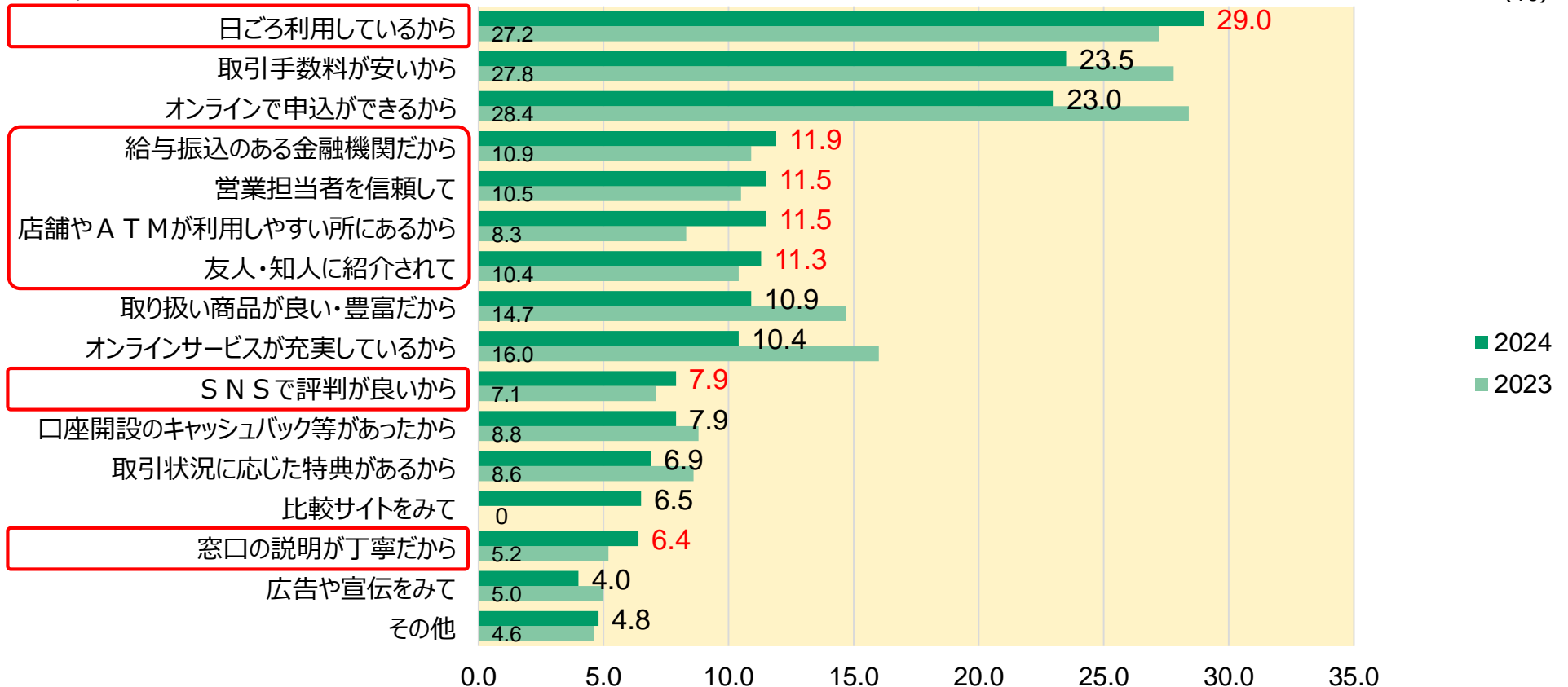
NISA投資経験有と回答した人にその金融機関を選んだ理由を尋ねました。

昨年と比べ、比率が増加した回答を赤字で示すと、NISA利用金融機関の選定理由として、「日ごろから利用」、「給与振込」、「営業担当者を信頼」、「店舗網」、「友人の紹介」等が増加している。

N=2,205

NISA利用金融機関の選定理由

(%)



NISA利用金融機関の選定理由

NISA利用者

選定理由について10%以上の回答のあった選択肢をNISA利用金融機関別に分析します。

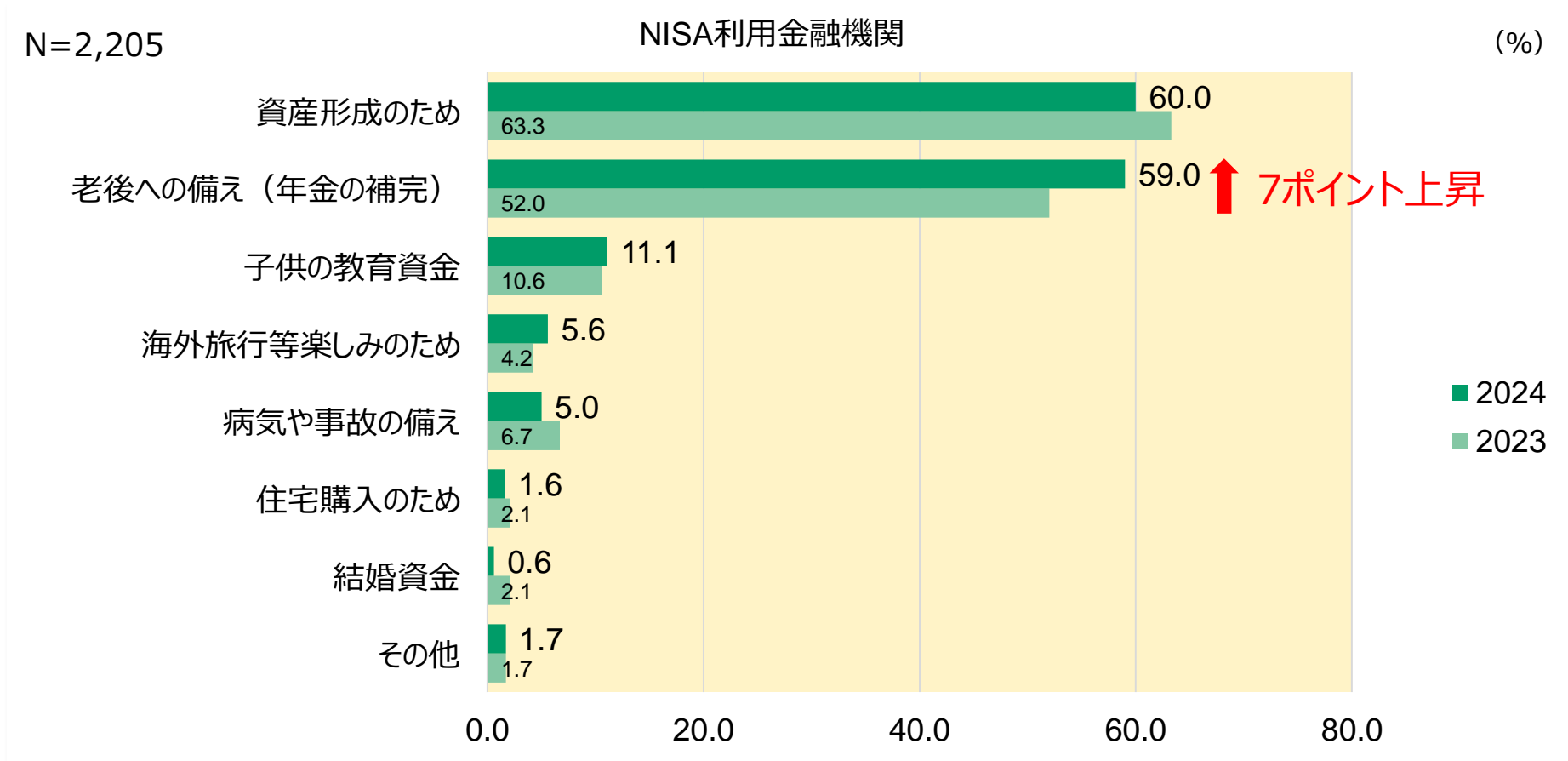
ネット証券では「取引手数料が安い」、「オンライン申込ができる」の回答が特に高い一方で、銀行等の金融機関では「給与振込」、「店舗やATM」、「営業担当者を信頼」の回答が高い。

NISA利用金融機関 N=2,205 (%)	日ごろから利用	取引手数料が安い	オンライン申込ができる	給与振込がある	店舗やATMが利用しやすい	営業担当者を信頼して	友人・知人の紹介	取扱い商品が良い・豊富	オンラインサービスが充実
メガバンク	31.4	4.7	7.0	34.3	18.7	19.2	17.1	7.5	4.8
地元の銀行	45.2	1.3	3.4	31.8	19.1	30.4	9.2	1.1	2.3
郵便局（ゆうちょ銀行）	34.6	4.8	8.9	14.3	24.9	28.6	15.6	3.9	1.2
地元の信用金庫・信用組合	44.6	1.8	0.6	14.2	20.0	32.7	14.4	0.9	1.1
農協等	43.4	0.0	2.1	32.5	6.9	24.1	8.1	4.7	0.0
証券会社	34.8	7.4	9.0	5.7	15.3	14.2	10.4	6.0	7.0
ネット証券・ネット銀行	22.1	44.0	39.9	2.8	5.3	0.5	10.0	17.9	17.0
その他	13.6	2.9	14.3	9.2	7.5	16.4	17.1	6.7	6.2

※赤字は20%以上の数値を強調表示

NISA投資経験有と回答した人にNISAの利用目的を尋ねました。

NISA利用目的は昨年と同様、「資産形成」60.0%、「老後の備え」59.0%の2つが高く、NISAが具体的な目標というよりも**長期的な金融資産の形成手段**として捉えられていると思われる。特に「老後の備え」については、昨年の52.0%から7ポイント増加している。



NISA利用目的 ②性年代別

NISAの利用目的を性年代別に分析すると、それぞれの性年代で異なる目的が見えてきます。

「資産形成」は男性の若手・中年層で極めて高い。「老後の備え」は男女とも50-69歳で高くなる。「子供の教育資金」は、男女とも30-49歳の子育て世代で全体合計を上回っている。また、女性18-29歳では「病気や事故の備え」が高い。

N=2,205

(%)

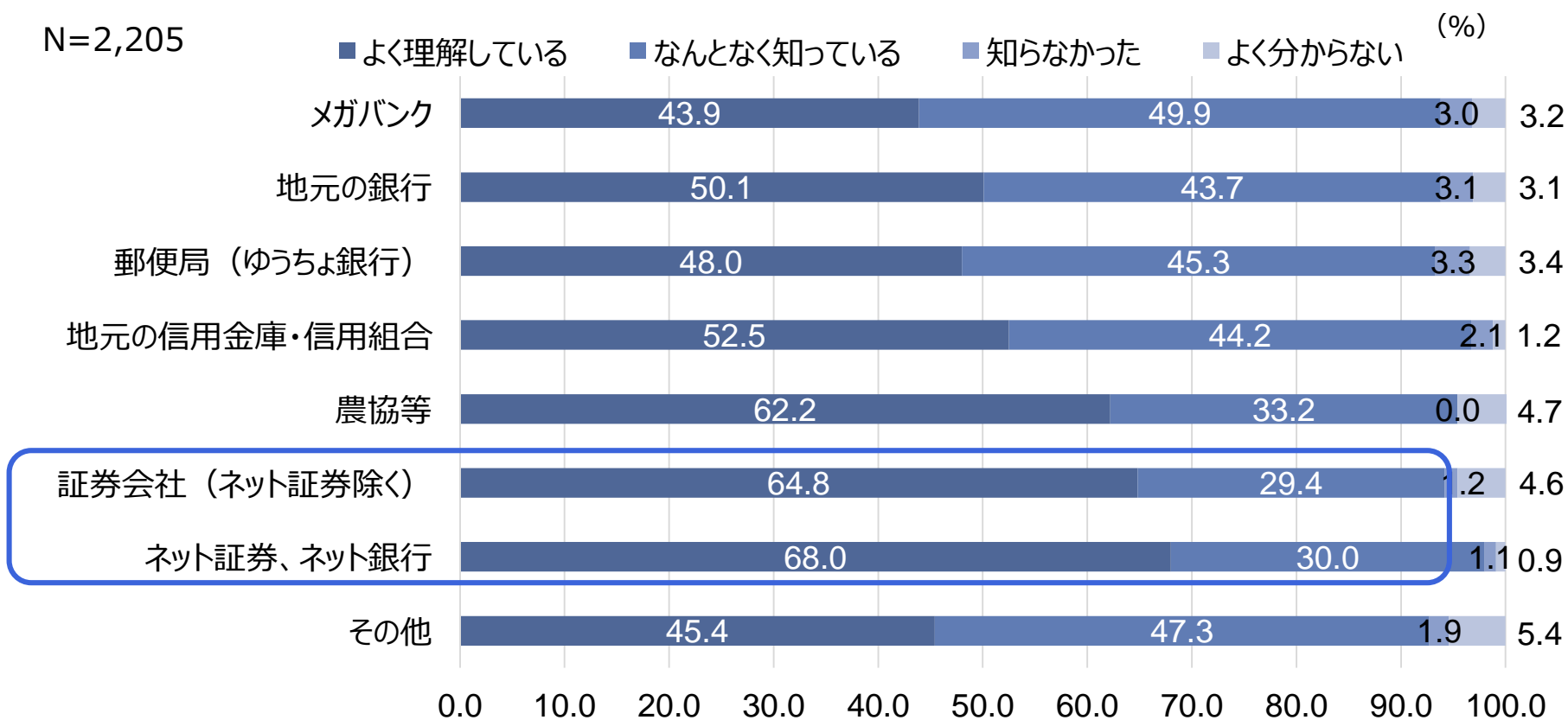
性年代別	資産形成のため	老後の備え（年金の補完）	子供の教育資金	海外旅行等楽しみのため	病気や事故の備え	住宅購入のため	結婚資金
全体合計	60.0	59.0	11.1	5.6	5.0	1.6	0.6
男性 18-29歳	91.9	39.8	7.3	2.4	3.2	3.7	0.7
男性 30-49歳	71.9	53.4	18.2	5.5	4.2	2.6	1.4
男性 50-69歳	56.9	65.1	2.2	4.1	5.2	1.3	0.0
女性 18-29歳	57.0	47.3	9.1	6.2	13.7	1.0	1.0
女性 30-49歳	59.3	58.8	26.8	5.4	5.0	1.7	1.2
女性 50-69歳	48.3	61.6	2.6	7.7	5.2	0.7	0.0

※赤字は全体合計を上回る場合に強調表示

損失リスク認知 NISA利用金融機関別

NISA投資経験有と回答した人に「NISAで購入した商品が値下がりし、売却時に損失がでるリスクがあることを知っているか」を尋ねました。

損失リスクの認知は、「よく理解している」と「なんとなく知っている」で合計で、どの業態でも90%超の認識がある結果となったが、「よく理解している」だけを見ると、証券会社64.8%、ネット証券・ネット銀行68.0%に比べ、メガバンク、地元の銀行、ゆうちょ、信金・信組等で認知度が低くなっている。



NISAをはじめるきっかけ NISA利用金融機関別

NISA利用者

NISA投資経験有と回答した人に「NISAをはじめるきっかけとなったもの」を尋ねました。

NISA利用金融機関別には、ネット証券が「インターネット情報サイト」33.6%、「家族・友人・知人」が32.8%と高い一方で、地元の銀行、ゆうちょ、信金・信組、農協等は「金融機関の担当者」が圧倒的に高くなった。

NISA利用金融機関 N=2,205 (%)	家族・友人・知人	金融機関の担当者	インターネットの情報サイト	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌	You Tube	金融機関のHP	Instagram	X (旧: Twitter)	金融業界団体のHP
全体合計	29.3	25.8	22.5	13.4	10.2	8.8	5.4	4.7	3.5	0.6
メガバンク	32.4	39.9	14.0	14.1	3.7	3.7	8.8	2.5	1.9	2.5
地元の銀行	24.2	58.5	8.5	9.0	6.0	1.1	3.0	1.9	1.1	0.2
郵便局 (ゆうちょ銀行)	29.4	50.3	5.0	18.3	8.9	2.2	1.7	2.6	3.5	0.7
地元の信用金庫・信用組合	23.9	63.2	2.5	10.9	8.2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
農協等	23.2	67.2	10.6	10.0	0.0	0.0	4.2	7.6	4.2	0.0
証券会社 (ネット証券除く)	19.4	35.7	18.3	17.4	15.6	5.6	4.4	1.5	2.2	0.0
ネット証券、ネット銀行	32.8	5.1	33.6	14.3	12.1	14.8	6.3	7.6	5.4	0.5

※赤字は全体合計を上回る場合に強調表示、「全体合計」には、「その他」と「答えたくない」を含む。

NISAで不安に感じていること NISA利用金融機関別

NISA利用者

NISA投資経験有と回答した人にNISA口座開設後に不安に感じていることを尋ねました。

全体では、「売買タイミング」29.8%、「相場の乱高下」17.6%、「投資情報の収集」と「保有商品が不安」が14.2%となった一方で、「不安なし・分からない」の回答が42.8%もあった。
NISA利用金融機関別には、下表のとおり、業態別の特徴が表れた結果となった。

NISA利用金融機関 N=2,205 (%)	売買のタイ ミングが分 からない	相場の乱 高下が怖い	投資情報 の集め方が 分からない	購入商品・ 保有商品 に対する自 信がない	信頼できる 相談相手 がない	相続をどう すればいい のかわから ない	その他	不安に感じ ていることは ない・よく分 からない
全体合計	29.8	17.6	14.2	14.2	8.8	6.8	1.2	42.8
メガバンク	31.0	21.5	8.0	13.1	5.1	1.6	1.2	43.5
地元の銀行	35.4	17.8	17.7	17.8	8.4	4.6	1.0	33.7
郵便局（ゆうちょ銀行）	34.7	26.0	18.6	13.1	5.1	3.6	0.2	39.6
地元の信用金庫・信用組合	41.4	23.0	15.5	14.9	6.7	5.2	0.0	31.9
農協等	49.0	14.6	20.9	13.0	10.8	2.1	0.0	31.9
証券会社（ネット証券除く）	28.9	15.0	13.3	13.7	6.5	6.0	2.4	44.8
ネット証券、ネット銀行	27.2	17.5	14.7	14.4	10.9	9.7	1.2	44.0

※赤字は全体合計を上回る場合に強調表示、「全体合計」には、「その他」と「答えたくない」を含む。

不安解消のために必要なこと NISA利用金融機関別

前問でNISA口座開設後に不安に感じていると回答した人に不安を解消するために、あれば良いと思うことを尋ねました。

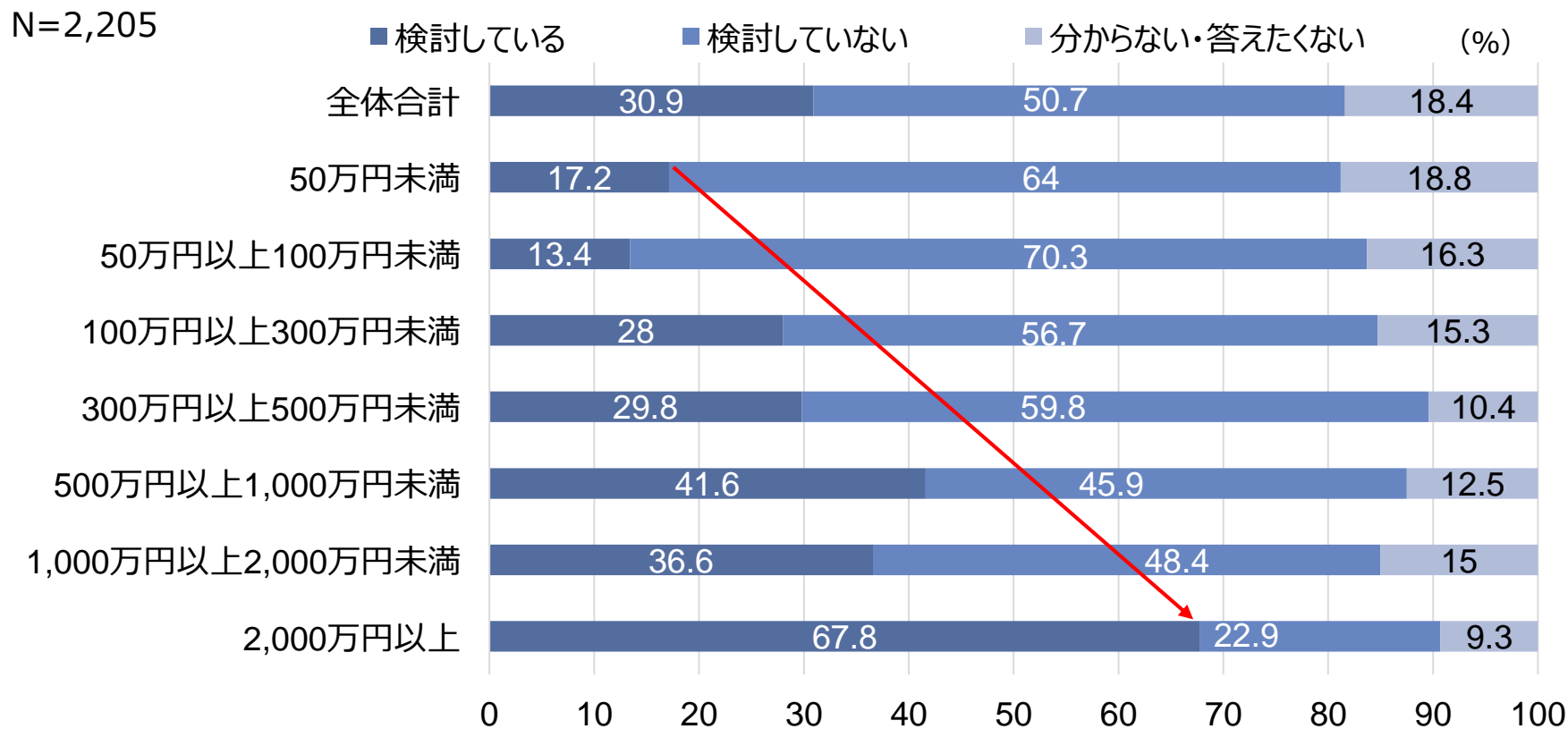
NISA利用金融機関 N=1,260 (%)	投資に関する自主的な勉強	金融機関などの担当者からの、適切な情報提供	金融機関などの担当者いつでも相談できる環境	金融機関などの担当者からの、資産運用アドバイス	金融機関などの担当者からの、保有資産に対する定期的なフォロー	YouTubeやメディアからの適切な情報提供	勉強会・セミナーへの参加	その他
全体合計	44.4	32.1	30.2	27.0	25.2	25.0	19.1	44.4
メガバンク	43.5	44.1	35.9	37.0	50.2	17.2	16.3	43.5
地元の銀行	26.1	46.5	40.2	40.5	36.3	14.0	18.5	26.1
郵便局（ゆうちょ銀行）	27.4	42.6	47.0	37.4	39.3	8.3	8.9	27.4
地元の信用金庫・信用組合	28.7	38.1	38.5	12.2	35.4	18.1	2.7	28.7
農協等	18.4	39.6	24.4	12.5	65.1	25.9	9.1	18.4
証券会社（ネット証券除く）	44.1	42.2	26.8	29.2	15.3	14.9	23.2	44.1
ネット証券、ネット銀行	55.7	20.3	24.0	19.2	16.6	36.3	21.0	55.7

※赤字は全体合計を上回る場合に強調表示、「全体合計」には、「その他」と「答えたくない」を含む。

NISA投資枠を超えた投資 保有金融資産別

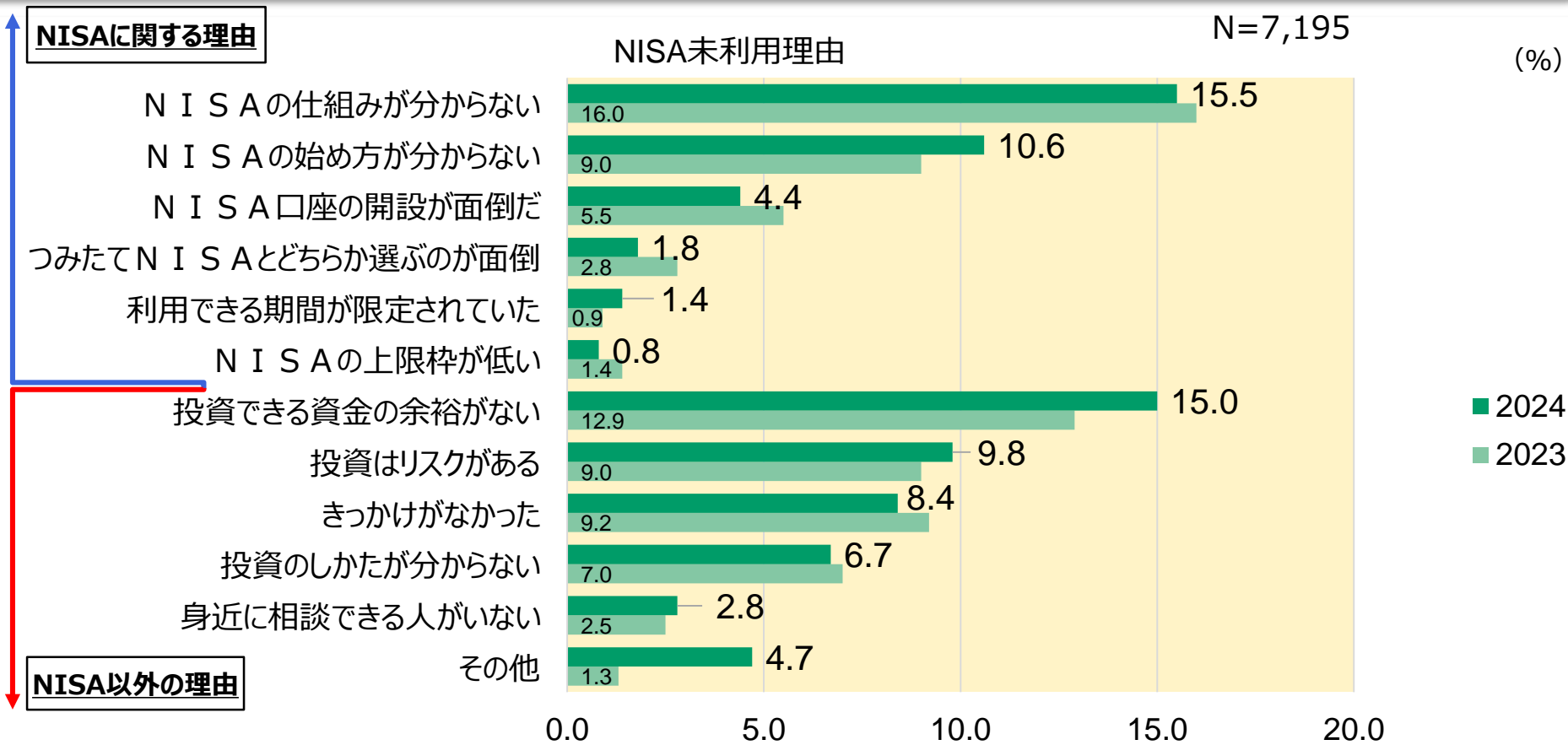
NISA投資経験有と回答した人にNISAの年間投資枠（年間360万円）を超えて、投資をすることを検討しているかどうかを尋ねました。

NISA投資枠を超えた投資の回答は、地域や業態より、保有金融資産による回答傾向の違いがはっきりと表れました。グラフのとおり、保有金融資産が高いほど、NISA投資枠を超えた投資を検討しているという回答が増えている。



ここからNISA投資経験なしと回答した人に、NISAを利用しない理由を尋ねました。

NISAを利用しない理由は、概ね昨年の結果から大きな変化は見られなかった。NISAに関する理由としては、「NISAの仕組みが分からない」が15.5%と最も多く、NISA以外の理由では「投資できる資金の余裕がない」が15.0%となった。



NISA利用のきっかけになりうること NISA利用意向別

NISA未利用者

NISA投資経験なしと回答した人にNISA投資を検討するきっかけとなりそうなことを尋ねてみました。

回答をNISA利用意向別に見ると、NISAに「興味があり、始めてみたい」と回答した人は、「NISA制度が自分にとって役に立つと思えたら」が39.1%と高く、他の「興味はある」と回答した人でも、NISA制度の理解がNISA利用のきっかけとなることになりうることを示している。

NISA利用意向別	NISA制度が自分にとって役に立つと思えたら	投資リスクが低い商品があれば	元本保証の商品があれば	運用に関するサポートがあれば	購入手数料が0円の商品があれば	信頼できる金融機関が見つかったら	忙しくなければ	好きな著名人が投資を勧めていたら	その他
N=6,191 (%)									
全体合計	32.2	29.5	29.1	23.1	21.0	15.4	11.7	0.5	1.7
興味があり、始めてみたい	39.1	37.3	34.0	28.1	26.3	21.9	15.8	0.8	1.2
興味はあるが、どうするかわからない	36.8	40.5	34.4	37.1	25.9	20.2	13.1	0.5	1.4
興味はあるが、お金がない	32.6	33.8	21.0	33.2	25.0	15.3	11.9	0.5	2.1
あまり興味がない	12.3	18.2	5.9	16.6	8.2	6.2	7.1	0.2	1.8

※赤字は全体合計を上回る場合に強調表示

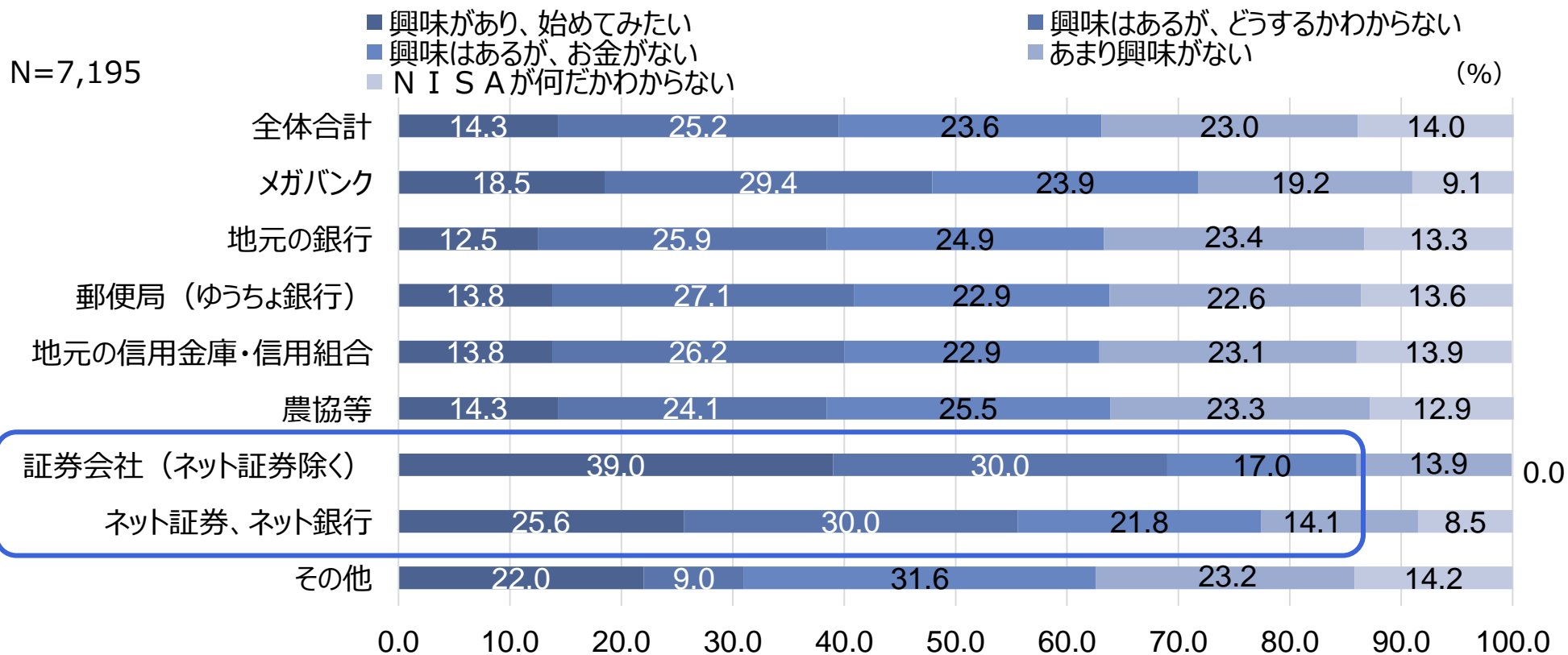
新NISA開始の反応 通常利用金融機関別

NISA未利用者

NISA投資経験なしと回答した人に「2024年から開始した新NISAへの考え」を尋ねてみました。

新NISAを「興味はあり、始めてみたい」が合計全体で14.3%、「興味はあるが、どうするかわからない」が25.2%、「興味はあるが、お金がない」が23.6%だった。

通常利用金融機関が証券会社と回答した人で、新NISAへの「興味あり」の3回答で86%と高い。また、ネット証券・ネット銀行も「興味あり」3回答で77.4%と高い。



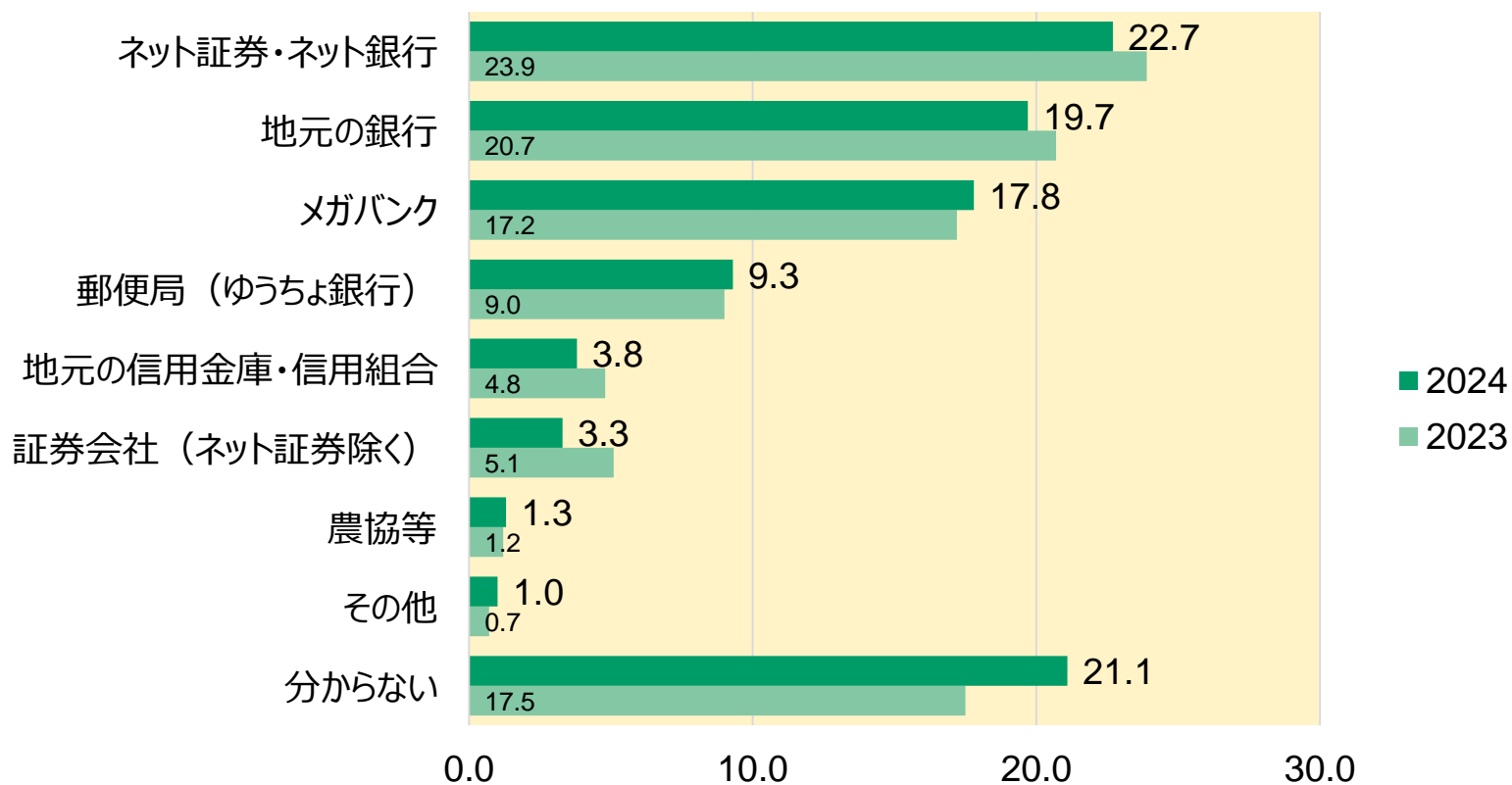
NISA投資経験なしと回答した人の内、NISAに興味があると回答した人に、NISAを利用するならば、どこの金融機関を利用したいかを尋ねました。

利用希望金融機関は昨年と同様にネット証券・ネット銀行が22.7%で、以下、地元の銀行19.7%、メガバンク17.8%と続く。昨年との比較では「分からない」の回答保留が21.1%と増加した。

N=4,538

NISA利用希望金融機関

(%)



NISAで購入してみたい金融商品 通常利用金融機関別

NISA未利用者

前頁に続き、NISA投資経験なしでNISAに興味があると回答した人に、NISAで投資をする場合、どのような金融商品を購入してみたいかを尋ねました。

証券会社で国内株式が78.2%と特に高いのは当然として、通常利用金融機関がメガバンクや農協等、ゆうちょ銀行、信用金庫等でも国内株式の回答が投資信託よりも高くなっている。

通常利用金融機関	国内株式	債券と株式にバランスよく投資する投資信託	海外株式	主に株式に投資する投資信託	主に債券に投資する投資信託	ETF・REIT	その他	回答保留
全体合計	40.5	30.6	25.5	11.4	6.9	4.4	3.3	24.9
メガバンク	46.1	36.1	31.3	13.9	6.9	6.7	1.8	18.1
地元の銀行	39.4	30.9	22.9	11.4	6.9	3.6	3.8	26.2
郵便局（ゆうちょ銀行）	41.8	33.5	24.2	10.3	6.6	3.8	3.8	25.4
地元の信用金庫・信用組合	41.8	30.7	24.2	10.3	6.0	2.9	3.8	24.2
農協等	42.0	36.2	23.1	10.8	6.0	3.6	4.2	25.5
証券会社（ネット証券除く）	78.2	30.3	52.3	25.2	19.3	10.4	1.3	1.8
ネット証券、ネット銀行	43.7	35.5	37.8	17.8	10.7	10.6	2.1	15.6

※赤字は全体合計を上回る場合に強調表示、「全体合計」には、「その他」と「答えたくない」を含む。

NISA利用希望金融機関の選定理由

NISA未利用者

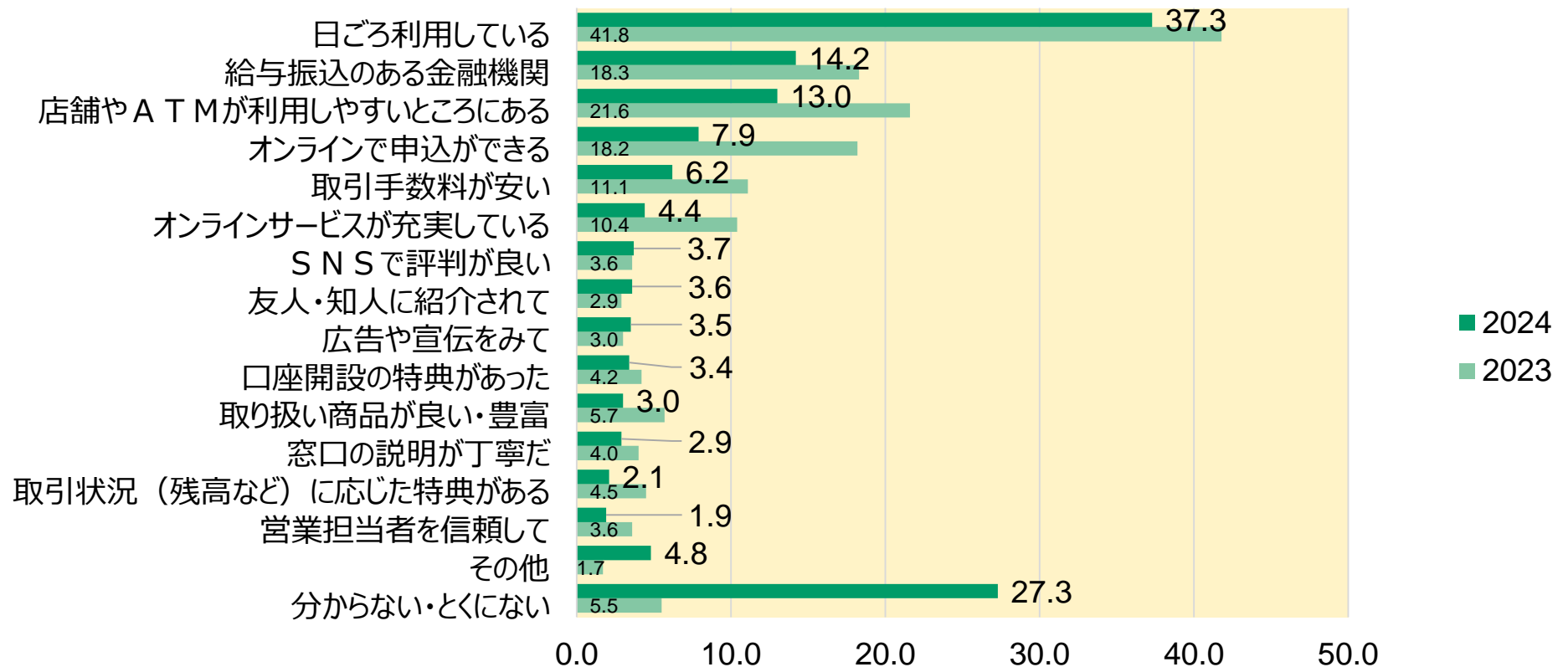
NISA投資経験なしと回答した人の内、NISAに興味があると回答した人に、NISAを利用したい金融機関の選定理由を尋ねました。

金融機関の利便性を重視した回答が上位に来る点は昨年と変わりませんが、昨年に比べ、「分からない」の回答が大きく増えている。昨年から実際にNISAを利用した層が動いた結果、残ったNISA未利用層では、まだ具体的な金融機関の利用イメージがもてないのかもしれない。

N=4,538

NISA利用希望金融機関の選定理由

(%)



NISAの情報で印象に残ったもの 通常利用金融機関別

NISA利用者+
NISA未利用&興味あり

NISA投資経験有と未利用者の内NISA興味ありの層に、NISAについての情報で印象に残ったものを尋ねてみました。

情報の認知は、全体として「テレビ等」27.4%、「ネット情報サイト」22.1%、「友人・知人」19.4%の順となった。販売促進チャネルの相違に応じて、業態による相違が伺える。

通常利用金融機関	テレビ・ラジオ	インターネットの情報サイト	家族・友人・知人	You Tube	金融機関の担当者	新聞・雑誌	金融機関のHP	X (旧Twitter)	Instagram	金融業界団体のHP	その他
全体合計	27.4	22.1	19.4	10.6	9.5	7.2	6.4	6.3	6.3	1.3	0.8
メガバンク	29.0	24.2	20.6	12.1	9.2	9.1	9.2	8.9	4.8	2.3	1.0
地元の銀行	30.1	22.4	19.1	9.5	11.4	7.9	6.3	5.8	6.4	1.8	0.7
郵便局 (ゆうちょ銀行)	29.0	21.7	21.4	10.8	11.0	7.4	7.7	6.8	7.3	1.9	0.7
地元の信用金庫・信用組合	30.7	19.9	22.5	12.3	10.8	7.3	5.8	5.8	8.3	1.1	0.2
農協等	30.5	22.3	24.8	12.4	14.1	9.8	5.1	8.9	7.1	2.1	0.9
証券会社 (ネット証券除く)	33.1	39.4	19.7	16.8	8.4	18.0	17.2	15.2	6.2	6.2	0.0
ネット証券、ネット銀行	20.7	31.2	16.9	17.7	5.8	8.0	10.5	9.5	7.8	2.4	1.3

※赤字は全体合計を上回る場合に強調表示、「全体合計」には、「その他」と「答えたくない」を含む。

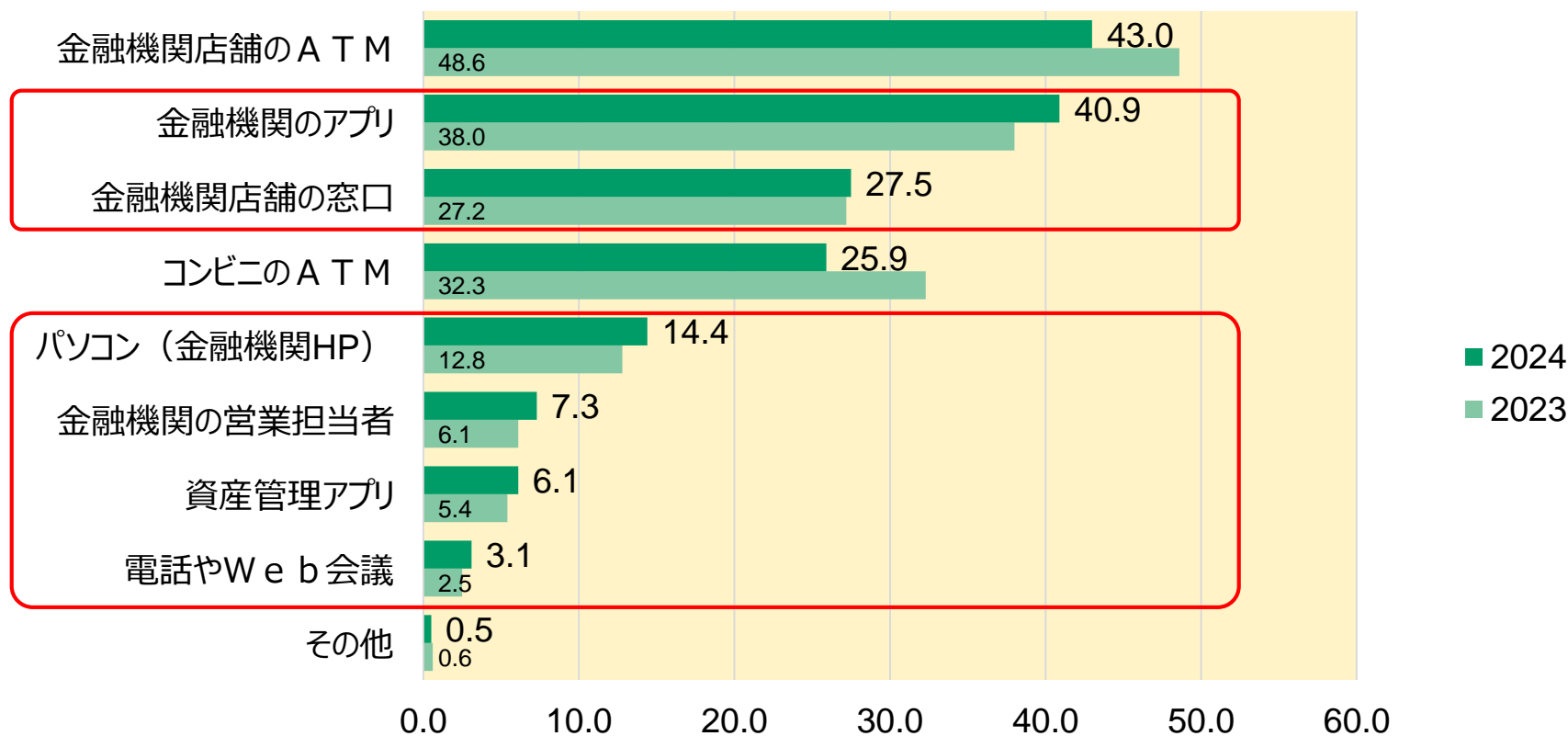
すべての回答者に対して、現状、金融機関の取引で使っているチャネルを尋ねました。

金融機関の取引チャネルは、ATMの利用が昨年よりも減少する一方、「金融機関のアプリ」40.9%、「金融機関店舗の窓口」27.5%、「パソコン（金融機関HP）」14.4%等が増加している。

N=9,400

金融機関の取引チャネル

(%)



金融機関の取引希望チャネル

全員

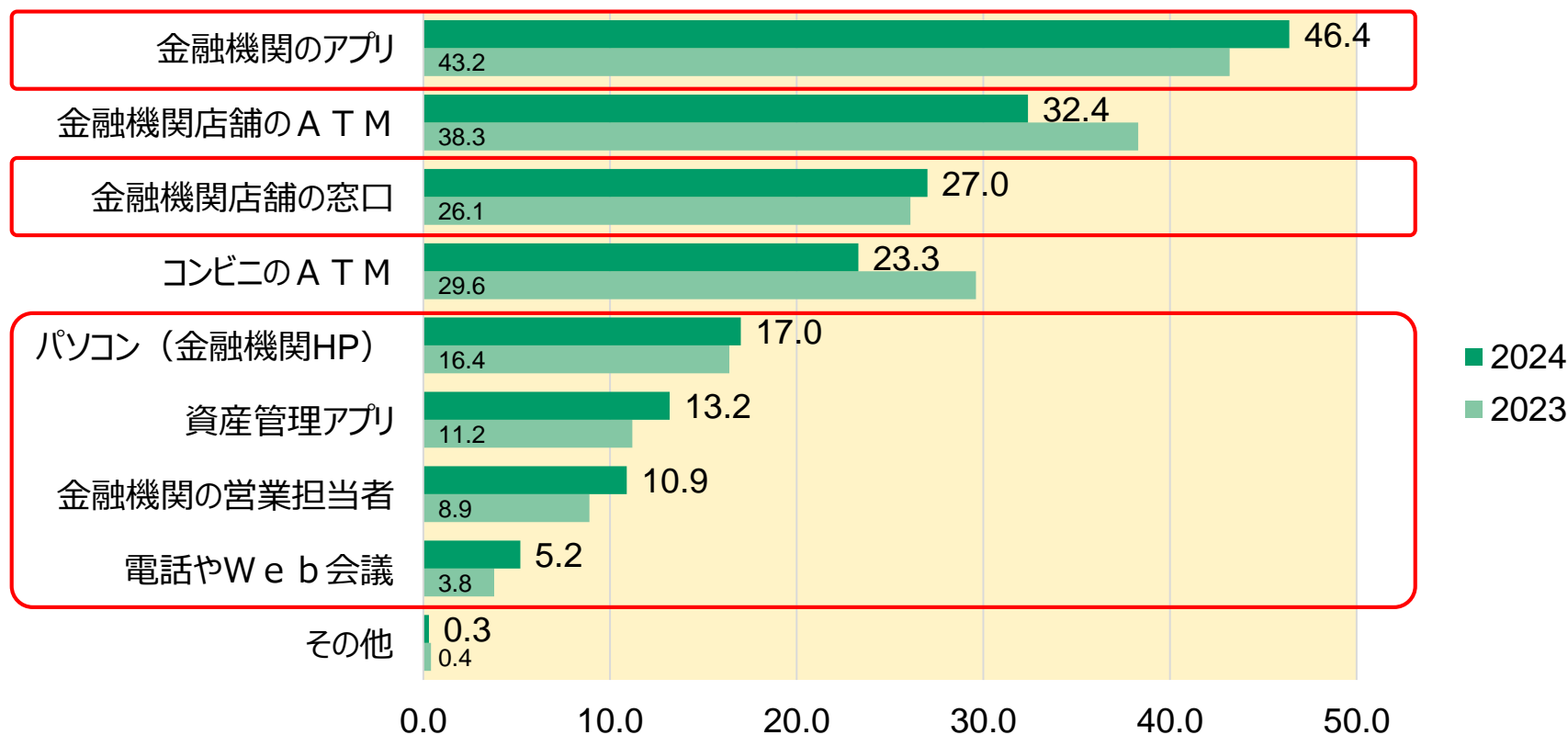
すべての回答者に対して、金融機関の取引で利用したいチャネルを尋ねました。

金融機関の取引希望チャネルでは、「**金融機関のアプリ**」46.4%と最も多い回答となった。スマホの利用が日常の道具になっている中で、金融機関の取引のあり方も変化していることが分かる。

N=9,400

金融機関取引希望チャネル

(%)



NISAによる資産形成の意識 通常利用金融機関別

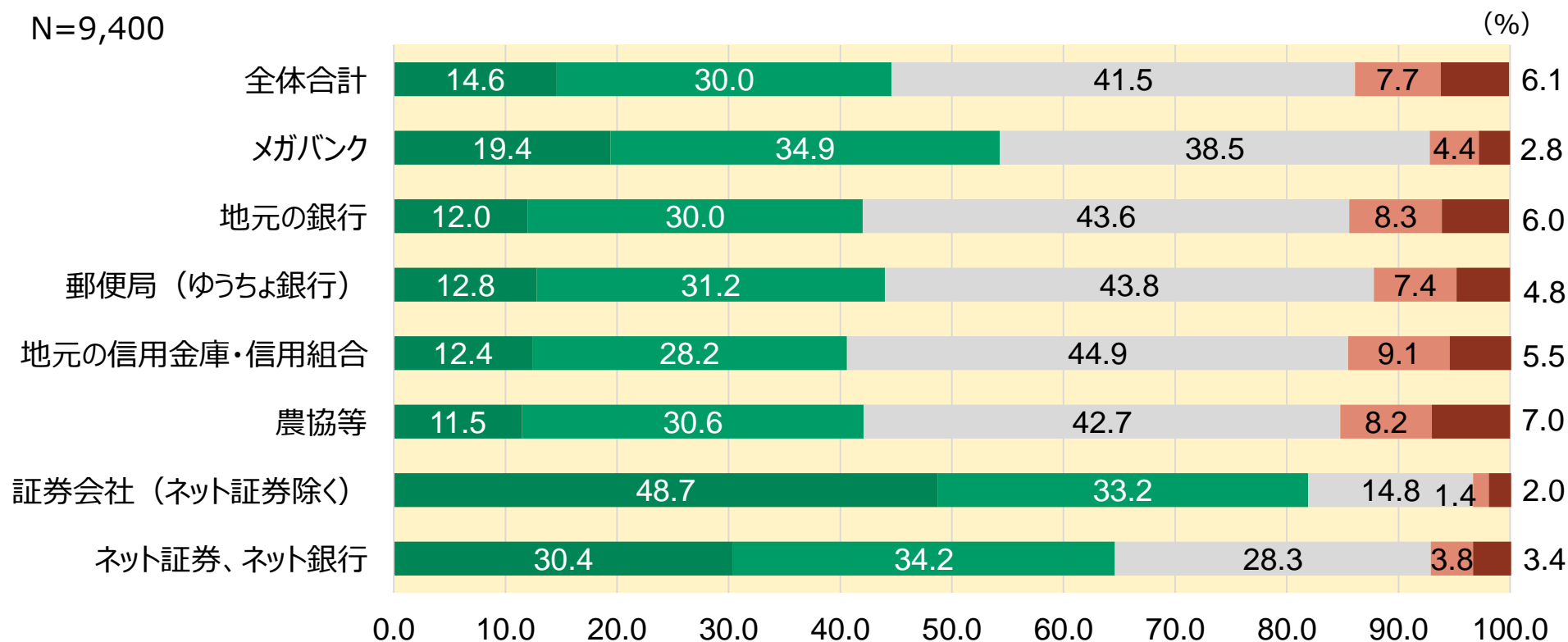
全員

NISAを利用して資産形成をすることについて、どのように思っているかを尋ねました。

NISAによる資産形成は、全体で44.6%が必要と考え、必要ないが13.8%となった。
金融機関別には、証券会社で「必要と考える」81.9%と特に高く、次いで、ネット証券・ネット銀行が64.6%と高い。

■ 非常に必要なことだと思う ■ 必要なことだと思う ■ どちらともいえない ■ 必要なことだと思わない ■ 全く必要なことだと思わない

N=9,400



※「全体合計」には、「その他」と「答えたくない」を含む。

02

調査項目

NISA意向調査 設問一覧①

設問	回答区分	回答対象	設問文
Facesheet	SA	全員	性別
	SA	全員	年代
	SA	全員	居住地
	SA	全員	未既婚
	SA	全員	子どもの有無
	SA	全員	職業
	SQ1	MA	全員
SQ2	MA	全員	現在、貯蓄や投資を行っていますか？保有している金融商品をすべて選んでください。
SQ3	SA	全員	資産作りの投資優遇制度「NISA（ニーサ）」を知っていますか？
SQ4	SA	NISA口座有	NISA口座をお持ちの方に伺います。あなたはいつNISA口座を開設しましたか？
Q3	SA	NISA利用者	NISAは、どこの金融機関で利用していますか？
Q4	MA	NISA利用者	前の質問でお答えになった金融機関を選んだ理由を教えてください。
Q5	MA	NISA利用者	NISA利用の目的は何ですか？あなたの考えに近いと思うものを選んでください。
Q6	MA	NISA利用者	NISA口座で保有している金融商品のうち、あなたが口座開設してから2023年末までに購入したものを選んでください。
Q7	MA	NISA利用者	NISA口座で保有している金融商品のうち、2024年1月以降に購入したものとおよび購入予定のものを選んでください。

NISA意向調査 設問一覧②

設問	回答区分	回答対象	設問文
Q8	SA	NISA利用者	NISAを利用しても、NISA枠で購入した商品（投資信託や株式）の値下がりにより、売却時に損失が出る場合があることを知っていますか？
Q9	MA	NISA利用者	NISAを始めるきっかけとなったものはありますか。あてはまるものをお選びください。
Q10	MA	NISA利用者	NISA口座開設後、不安に感じていることはありますか。あてはまるものをお選びください。
Q11	MA	NISA利用者	前問でお答えになった不安を解消するには、何があればいいと思いますか。
Q12	SA	NISA利用者	今後、NISAの年間投資枠（年間360万円）を超えて、特定口座や一般口座で投資をすることを検討していますか。
Q13	SA	NISA未利用者	税制面の優遇があるNISA制度をこれまで利用しなかった理由をひとつだけ教えてください。
Q14	MA	NISA未利用者	以下の中で、NISAでの投資を検討するきっかけになるものはありますか。
Q15	SA	NISA未利用者	2024年からNISAの制度が拡充されました。あなたのお考えを教えてください。
Q16	MA	NISA未利用者	NISA口座で投資するとした場合、購入してみたいと思う金融商品をお選びください。
Q19	SA	NISA未利用者	新たにNISAを始めるとしたら、どの金融機関を利用しますか？
Q20	MA	NISA未利用者	前の質問で、その金融機関を選んだ理由を教えてください。

NISA意向調査 設問一覧③

設問	回答区分	回答対象	設問文
Q21	MA	NISA利用者+ NISA未利用者 & 興味あり	以下の中で、NISAについての情報をみたものはありますか。あてはまるものをお選びください。
Q22	MA	NISA未利用者	NISA口座開設後、不安に感じそうなことはありますか。あてはまるものをお選びください。
Q23	MA	NISA未利用者	前問でお答えになった不安を解消するには、何があればいいと思いますか。
Q24	MA	全員	金融機関と取引をする際、利用している取引方法（チャネル）を教えてください。
Q25	MA	全員	金融機関と取引をする際、利用したい取引方法（チャネル）を教えてください。
Q26	MA	全員	投資や資産形成について金融機関に相談する場合、どのような相談方法があると便利だと思いますか。
Q27	SA	全員	NISAを利用して資産形成をすることについて、どのように思いますか。
Q28	SA	全員	金融について学校で学ぶこと（金融教育）について、どのように思いますか。
Q29	SA	全員	NISAの利用意向の参考データとして、あなたが現在保有している金融資産の総額に近いものを選んでください。



調査結果の利用について

- ・本調査は、株式会社NTTデータエービックが実施し、著作権を保有しています。
- ・調査結果の一部を転載・引用される場合は、出所として「NTTデータエービック」と明記した上で、掲載日・掲載媒体・引用箇所等の情報につきましては、以下のお問い合わせ先までお知らせください。
- ・調査結果について、出所を明記せずに転載・引用を行うこと、データの一部または全部を改変することなどの行為はご遠慮ください。
- ・本アンケート調査の生データは提供いたしかねます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社NTTデータエービック

金融サービス推進部 セールスオフィスチーム

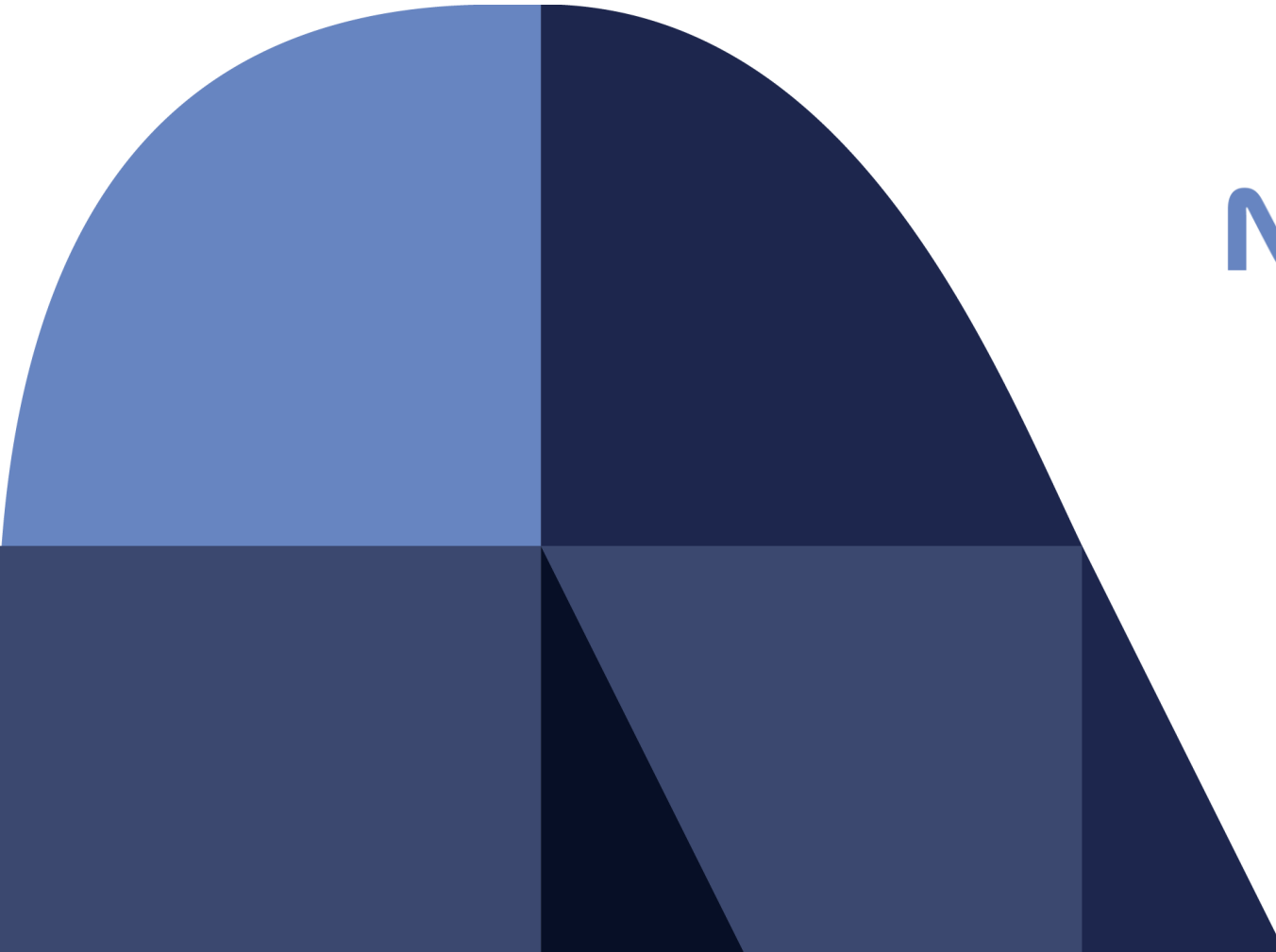
電話番号：03-6435-5980（代表）

受付時間 9時00分～17時00分（土・日・祝日を除く）

当社ホームページのお問い合わせフォームをご利用ください

<https://www.nttdata.abic.co.jp/>

MEMO



NTT DATA
Trusted Global Innovator